

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年3月16日

事業所名:子ども発達さぽーとセンターあゆみ園

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準は満たしているものの、十分なスペースとは思えないため、できる限り園外の活動や遊戯室の効率的活用を工夫している。	
	2 職員配置数は適切であるか	○		基準以上の職員配置をしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		毎年、発達や特性に合わせたグループ編成を行い、それぞれのグループに適した環境を検討している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		コロナ対策も含め、室内やおもちゃなどの消毒を徹底し、清潔で安全な環境整備に努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△		マニュアル整備及び浸透に向けて、計画を策定しながら実施している。	マニュアル内容が職員の共通指標となるよう、組織的に取り組んでいく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	△		アンケートや直接伺った意向も含め、まだまだ十分とまではいえないものの、迅速な対応ができるように心がけている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		2018年度より、ホームページにて自己評価及び保護者向け評価を公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	△		2022年1月に受審予定だったが、コロナの影響を受け延期。2022年6月頃受審予定。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内研修・オンライン研修・職場内の専門職による研修などを実施し資質向上に努めている。	研修マニュアルを策定し、組織的な研修制度を策定した。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	△		コロナ禍の影響を大きく受け、グループによる保護者支援や併行通園先との連携が思うように実施できない状況となった。緊急事態宣言・まん延防止措置の解除時期に、できる限りの連携訪問を行った。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個々の子どもさんに応じた対応を基本としながら、それぞれの発達や特性の状況に応じ、個別や集団を工夫して実施しているが、コロナ禍の影響から、大きな集団での活動が保障しにくい状況となった。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	△				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△		「必ず」とまでは言えないが、基本的に行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		様式の改善等を行いながら、記録の徹底に努めている。	検証・改善に関しては、これからの取り組みとしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		サービス担当者会議を開催したり、必要な場合には参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就園、就学の際には、訪問や来訪を通して、情報の共通理解を図るように努めている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		ただ、コロナ禍の影響を受け、文書や電話でのやり取りとなる部分もあった。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に合わせて、電話でのやり取りなど、支援に対する助言や連携を行うようにしている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		今年度は会議開催が紙面やWebとなった。できる限りの参加をしている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	△		コロナ禍の影響が大きく、保護者グループ、面談、伝達が十分にできない状況であった。	感染対策を行いながら、保護者の方とのやり取りが、少しでも確保できるよう検討していきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		実施できない期間があったが、定期的に保護者グループを開催し、子育ての悩みに対する支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	△			
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			本年度、職員室前掲示板に、ご意見箱を設置した。様々な意見を出してもらいやすくなるよう、活用しやすい方法を模索していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページを活用し、お便りや写真、動画を配信し、取り組みを分かりやすく伝えられるように工夫している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡帳、メール等でグループ形態に応じた工夫をしている。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		通園児以外の方に向けた、併設の子ども園が取り組んでいる事業の一部を担っている。	
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種非常時マニュアルやコロナ感染時の対応マニュアルの策定、文書での通知、必要に応じたメールでの緊急連絡を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		午前グループを中心に通園児や保護者も交えた避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	口頭のみではあるが迅速に職員間で共通理解ができるように取り組んでいる。	事例集作成に向けた手順を検討中。次年度より、取り組んでいく方向。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			共通認識を深めるため、職員研修を計画している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		通園のしおりや支援計画書に記載し、保護者への説明を行っている。	